

2019年3月4日

GA委員会

MRJ ミュージアム・あいち航空ミュージアム見学会 参加報告

1. 開催日時

2019年3月4日（月）12:00 ～ 17:30

2. 見学先および講和

見学会： MRJ ミュージアム、あいち航空ミュージアム

講和： MHI テストパイロット フライトテスト部 太田寛治氏

3. 見学会参加者（GA委員会枠のみ）

GA委員会枠（11名）

4. 見学会内容

MRJ ミュージアム： MITSUBISHI REGIONAL JET (MRJ) の概要紹介、
模型や実物を用いた最先端のテクノロジーの説明、
最終組立工程の見学、体験学習

あいち航空ミュージアム： 航空機産業の情報発信、航空機の歴史、
飛行機が飛ぶ仕組み等の学習および体験

講和： 『先進技術実証機の初飛行』

5. 見学会成果



MRJ ミュージアムでは、三菱重工グループの最先端テクノロジーを搭載した「国産初のジェット旅客機」
MITSUBISHI REGIONAL JET (MRJ) の概要説明後、最終組立工場に移動し、モックアップや模型を用いた説明により、MRJ が如何に世界の最先端のテクノロジーを集約した航空機であるか理解できた。

なかでもエンジン・パイロン原寸大モックアップは、翼にエンジンを取り付ける工程の検証を行うために、木材からできた実寸大パーツを用いて立体的に組み立てたもので、最も印象に残った展示物の一つであった。パーツの供給や加工そして最終組立に至るまでの物流の過程と効率の良いプロセスや工夫も学ぶことができ、国産初のジェット機として日本から世界に羽ばたく航空機ということを実感できた。





あいち航空ミュージアムでは、航空機の歴史や飛行機がどうして飛ぶのかなど、分かりやすい工夫がなされている展示であった。また1階の展示場には沢山の種類の航空機が展示されており、実機に触れられるだけでなく、操縦体験のコーナも用意されており、自然と飛行機が身近に感じさせるような展示方法であった。

上記2施設を通して共通して言えるのが、施設の通路一つを取っても、子供たちから航空業界に従事している大人までが航空産業に興味を持つような工夫が施されており、日本のモノづくりの繊細さを含め、航空業界の全体の裾野拡大に大きく寄与している施設だと実感した。



講和に関しては、会場を移し『先進技術実証機の初飛行』に関して、MHI テストパイロットフライトテスト部・太田寛治氏に講和頂いた。テストフライト実施する前に想定されるあらゆるリスクを挙げ、そのマネジメントを行い一つずつクリアにしていく。それだけテストフライトには危険が伴う反面、パイロットだけでなくテストフライトのチームで飛行機を飛ばしているため、あらゆる視点からリアルタイムでモニターしていることに驚いた。

6 その他

見学会の写真については、添付のとおり。(館内は写真撮影禁止)

以上